

第4学年2組 国語科学習指導案

平成21年6月9日(火) 第4校時

授業者 教諭

1 単元名 大事なことを落とさずに話したり聞いたりしよう  
「伝言はまちがえずに」

2 単元の見積

- ・正しく伝え合うための大事なことを進んで知ろうとする。(関心・意欲・態度)
- ・相手に用件が伝わるように、大事なことを落とさず、筋道を立てて適切な言葉遣いで話することができる。(話す・聞く)
- ・大事なことを確かめながら聞き、短い言葉でメモを取ることができる。(話す・聞く)
- ・その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話することができる。(言語)

3 単元について

聞き手として育てることは、よりよい話し手を育てることになる。その意味で、本単元では、大事なことを落とさずに聞き取る力を中核に、その裏返しとしての話す力を育てることを目指す。大事なことをつかんで端的にメモを取る力は、今後の学習や日常生活にとって必要な力となる。

本教材では、メモは口頭で用件を伝達するとき大事なことが分かり、メモの取り方を工夫して適切に話したり聞いたりすることを目標としている。この成果は、今後の「『伝え合う』ということ」に発展し、「伝え合うこと」への認識を深めていくことになる。

また、本教材は、正しく伝え合うことの「話すこと・聞くこと」の技能を焦点化したもので3年の「道案内をしよう」や「分類」からつながり、5年の「インタビュー名人になろう」につながっていく。

4 児童について

活発な児童が多い。全体として進んで自分の考えを発表しようとする児童が増えてきた。しかし、発表を苦手とする児童や、集中して話を聞くことが苦手で、教師や友達の話を聞き逃してしまう児童も見られる。「今週の学級遊び」で行った伝言ゲームでも、上手く聞き取れず最後まで正確に伝わらなかったグループもあった。

児童自身が大事な用件を電話で受け取ったり、受け取った用件を家族に伝えたりする経験は、携帯電話の普及によりあまり多くはないのではないかと考えられる。機会が減っているからこそしっかり指導したい。メモを取ることは、児童は、社会科見学で質問し聞いたことを書き留めるといった経験から、個人差はあるもののわりと慣れてきている。この学習を通して、口頭で伝達される情報を注意深く聞き、日常生活にも生かされるようにしていきたい。

5 指導について

中学年の部会テーマ「友達の思いや考えを受けとめ、自分の思いを伝え合う子どもの育成」を受けて、話す・聞く活動について意識して取り組んでいる。聞くときは、「まなざしで聞く」ことを常に意識させ、友達の意見に反応するよう支援している。普通の挙手はパー、反対意見はグー、付け足し又は似ている意見は人差し指を立てて、質問はチョキといったハンドサインを用いて話すときのルールを徹底している。また、「伝わるように」場に応じた声の大きさを意識するようにしている。通常は児童が多い方に向かって体の向きを変え、一番遠い児童にも聞こえるようにし、語尾まではっきり言うよう繰り返し指導している。また、児童の指名で発表をつなげることもできるようになってきている。

本時では、教科書に出てくる原田さんの伝え方や田中さんと青山さんの聞き方の違いについてよく考えるようにする。次に、児童が意欲的に活動に取り組めるように、日常的にありそうな遊びの場面を想定させて、電話によって伝える練習をするようにしていく。その中でも聞き取りメモの取り方について話し合うことにより、実際の場面へとつなげていきたい。

この学習でメモを取ることで間違いが少なくなるということを経験し、学校や家庭生活でも実践できるように広げていきたい。

6 指導計画(4時間配当)

時	学習内容	ねらい	関	調	読	書	言	評価規準
1	電話で伝えるとき内容を正しく伝えるために大事なことは何かを話し合う。	正しく伝えるために大事なことを進んで知ろうとする。	◎	○				(関心・意欲・態度) 正しく伝えるために大事なことを進んで知ろうとしている。

2 本時	よいメモの取り方について話し合う。メモを取りながら、友達と電話で話す練習をする。	よいメモの取り方について理解し、メモを取りながら、友達と電話で話す練習をすることができる。	○	◎			(話す・聞く) 大事なことを確かめながら聞き、短い言葉でメモを取ることができる。
3	CDを聞きメモを取って伝え合う練習をする。	前時の練習をもとに、メモを取って伝え合う練習をすることができる。	○	○		◎	(言語) その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話すことができる。
4	役割を交代しながら、伝え合う練習をし、自己評価をする。	グループごとに伝えたいことを考え、役割を交代しながら、伝え合う練習をすることができる。	○	◎		○	(話す・聞く) 相手に用件が伝わるように、大事なことを落とさず、筋道を立てて適切な言葉遣いで話すことができる。

7 本時の目標

大事なことを確かめながら聞き、短い言葉でメモを取ることができる。

8 準備物

CD CD台本 メモ用紙 コードレス電話

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支援（・）と評価（☆）
<p>○本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>電話の内容を、メモを取りながら大事なことを確かめながら聞こう</p> </div> <p>○聞き手の立場で実際にメモを取りながらCDを聞く。 ・原田さんから ・待ち合わせ時間・・・10時15分 ・場所・・・博物館入り口</p> <p>○よいメモの取り方について話し合う。 ・か条書きでポイントをおさえて書く。 （いつ、どこで、だれと、何を、どのように） ・大事なこと（用件、時間や場所）を短い言葉で書く。 書くことが追いつかない場合は「少し待ってください。」などと伝える。 ・自分が分かる記号や番号を考えて使うとより速く書くことができ便利 （例）・6月9日→6／9 ・特に大事→※ ・話の順序に従って番号を使う→①②など ・最後にくり返してメモの内容をたしかめる。</p> <p>○「待ち合わせの変更」の場面を具体的に想定し、2人組で交互に話し聞き手になり、メモを取りながら聞き取る練習をする。</p> <p>○次時の予告を聞く。</p>	<p>・前時で学習した教科書の「たいせつ」の内容を掲示しておく。</p> <p>・CDの台本を見ながら原田さんと青山さんを実際に演じることにより、本時の学習に意欲をもてるようにする。</p> <p>・学級で決まっている「話す・聞く」のルールを再確認し、話し合い活動に入るようにする。</p> <p>・教科書の「たいせつ」の内容と関連させて話し合いを進めるようにする。 ☆意欲的に話し合いに参加しているか。（発表・観察…関・意・態）</p> <p>・同性で遊ぶことが多いので、班の中で男子同士女子同士の組み合わせにする。 ・「待ち合わせの変更」の文章は、予め各自が用意しておくようにする。 ☆大事なことを確かめながら聞き、短い言葉でメモを取ることができたか。（観察・メモ…話す・聞く） ・伝言ゲームによって正確にメモを取れるようにするよう伝える。</p>

10 授業の観点

よいメモの取り方について話し合ったことが、聞き取る練習に生かされていたか。

